

第2学年「古典B」年間指導計画

教科	国語	科目	古典B	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	新高等学校古典B(明治書院)						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧（数研出版） やさしくくわしい古典文法三訂版（尚文出版） 修訂版古典文法ノート（尚文出版）						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・1年生での学習の基礎の上に、古文や漢文を自力で正しく読解できるように文法や語彙力を磨きましょう。
- ・思考、表現、理解、また社会生活に必要なための日本語の力を身につけましょう。
- ・古典作品の豊かな世界を味わい、正確に読解できるように多様な知識を増やしましょう。
- ・漢字、熟語やさまざまな表現を正確に使えるように日本語の語彙力を豊かにしましょう。

2 学習の到達目標

- 1 「国語総合」の古典の学習に続き、様々な教材を取り上げ、幅広く学習することで、古典の内容を的確に捉え、理解する力を高める。
- 2 古典に用いられている語句の意味や用法、表現上の特色や構造への理解、文章に表れた思想や感情の読み取りなどを通して、国語についての認識を高め、言語感覚を養う。
- 3 優れた表現に親しみ、特に日本と中国の文化の関係を考える。
- 4 古典に表れたその時代の思想や感情に触れ、自らのものの見方、感じ方、考え方を豊かにするとともに、古典に親しむ態度を身に付ける。

3 学習評価（評価の規準と評価方法）

観点	関心・意欲・態度 (A)	話す能力・聞く能力 (B)	書く能力 (C)	読む能力 (D)	知識・理解 (E)
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	授業の取り組み姿勢 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績			テキストの音読 応答と発問 小テスト・定期考査の成績	応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価をする。

4 学習の活動

学期	単元	教材	評価の観点					単元の評価規準	評価の方法の観点
			A	B	C	D	E		
一学期	説話	安養の尼の小袖 (古今著聞集)	○			○	○	A:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
		大江山 (十訓抄)	○			○	○	D:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 E:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	
	随筆 (1)	竹取物語 帝の求婚	○			○	○	A:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。	
		徒然草 世に語り伝ふること これも仁和寺の法師	○			○	○	D:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 E:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	
	故事・逸話	矛盾 (韓非子) 推敲 (唐詩紀事) 画竜点睛 (歴代名画記) 杞憂 (列子)	○			○	○	A:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 D:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。	
一学期	史話・史伝	十八史略 背水之陣 赤壁之戦	○			○	○	E:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	歌物語	伊勢物語 梓弓 小野の雪	○			○	○	A:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。	
	随筆 (2)	枕草子 雪のいと高う降りたるを 九月ばかり	○			○	○	D:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 E:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	
	詩	涼州詞 王翰 望廬山瀑布 李白 舟中詠元九詩 白居易 旅夜書懷 杜甫	○			○	○	A:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 D:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。	
	文	五柳先生伝 (陶淵明集) 雜説 (唐宋八家文読本) 送薛存義序 (古文真宝)	○			○	○	E:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	
三学期	軍記物語	平家物語 忠度の都落ち	○			○	○	A:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	日記	更級日記 門出 源氏物語を読む	○			○	○	D:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 E:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	
	寓話	五十歩百歩 (孟子) 夢為蝴蝶 (莊子) 且買履 (韓非子)	○			○	○	A:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 D:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 E:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	